

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	ビジネス実務Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期：18時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。</p>		
そ の 他	<p>各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。</p> <p>人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。</p>		
	前 期		
授 業 の 概 要	<p>1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指す。この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。</p> <p>また、社会人としての心構えを身につける。</p>		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、早期出社ができるようにする。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>期末試験 (95%)、出欠席 (5%)</p>		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	ビジネスアプリケーション	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期：38時間 / 後期： 時間	実務経験：平成元年より3DCG制作業務に従事。独立後に在阪TV局での番組映像制作の傍ら専門学校や大学にてマルチメディア系講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	MacでのExcelを操作したことがない学生が大半であるため、基礎から操作解説を行っていく。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら、検定3級合格レベルまで引き上げていく。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストを單元ごとに進み、まず実際にExcel操作を確認させ、その後実習を行っていく。卒業後も就職先やプライベートでもExcelは必須であることを自覚させ、できるまで繰り返し操作をし、ひとつずつマスターしていく。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	Excel 表計算処理技能認定試験の3級レベルを目指す。Excelの基本的な操作（データ入力、罫線・グラフの作成、関数の利用、セルの参照、判定条件、検索関数）について学ぶ。		
到 達 目 標	表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、必要に応じて並べ替えやフィルターを設定できるようにする)		
成 績 評 価 方 法	前期試験 90%、出席席状況 5%、授業態度 5%		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	30 時間でマスター Office2013(実務教育出版株式会社)		

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科目名	Webデザイン実習応用 I	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期・後期・通年	担当教員	佐賀根 理沙
時間数	前期：48時間 / 後期：時間	実務経験：岡山のメーカーで約7年間、インハウスデザイナーとしてグラフィックデザインや商品開発、ブランディングに関わる。	
科目の目的と講義内容	1つのテーマに対してコンセプト設計からデザインを作成し、グループまたは個人でプレゼンテーションを行うことで、デザイナーやプログラマーの観点から、問題解決力を養うことを目的とする。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	個人制作を基本とするが、課題によってはグループワークで実施。仮想クライアントの課題に対して、問題発見・解決・プレゼン能力を養う。また、グループワークでは、個人制作では感じる事ができない、協力の大切さやリーダーシップの難しさを理解できることを期待する。		
その他			
	前期	後期	
授業の概要	仮想クライアントからの要望に対し、情報の整理を行い、見やすく、わかりやすい情報設計及びデザインを、課題を通して行う。		
到達目標	課題発見・解決能力を身につけ、目的に沿った Web デザインが制作できるようになる。		
成績評価方法	制作物 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%)		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	グラフィックデザインⅡ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤岡 勝利
時 間 数	前期：73時間 / 後期： 時間	実務経験：東京のデザイン会社で4年間、フリーランスで15年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、基礎的な表現力を身につけさせ、デザインやイラストレーションに活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	実践的なデザイン制作の実習を通じて、デザインのバリエーションを学びクリエイティブな業界の即戦力になれるように学習する		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	色数を絞った統一感のあるデザインや、デザインをするために基本的な考え方を鍛えて、応用力を磨く。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	PCでリサーチ、ラフスケッチでアイデア出し、IllustratorやPhotoshopを使用し、制作。期日厳守で、課題提出日を区切り指導。		
到 達 目 標	就職試験に作品集の中に入れ、持参し説明できるレベルにする。		
成 績 評 価 方 法	制作物 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%)		
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	HTML制作演習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	松浦 登美子
時 間 数	前期：80 時間 / 後期： 時間	実務経験： プログラマとして12年、Webディレクター兼サーバーエンジニアとして2年にわたり、企業サイトを手掛ける。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Web制作全体の流れを把握し、受け取ったサイトデザインからHTML/CSSで実装する方法を学ぶ。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テキストだけでなく動画教材や学習サイトも活用し、実際に制作できるスキルを自主的に養うこと。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	モックアップを分解し、HTMLの文書構造を構築する。 CSSでスタイリングを整え、レスポンスにも対応する。		
到 達 目 標	ベーシックなプロフィールサイトの制作が出来るようになる。		
成 績 評 価 方 法	課題(65%)、期末試験(30%)、出欠席(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	デザインをすらすら再現できる HTML/CSS ブロックコーディング		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	動画制作実習応用	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 後期 ・ 通年	担 当 教 員	菊井 貴繁
時 間 数	前期：80時間 / 後期：時間	実務経験：平成16年より映像編集技師として映画業界で活動し、映画のみならず、YouTube用広告やテレビCM、TVドラマなど多岐にわたる映像の編集に携わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ネット動画や映画・TV・広告など、映像が持つ性質や規格の違いを知り、映像制作におけるアイデアの構築から実際の映像作品の制作に係る一連のプロセスを学ぶ。 個人とチームの両方でのプロジェクトを通じて、映像制作の基礎と編集の基本を習得し、発表する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	学生の個別のニーズやレベルに合わせて、適切なフィードバックを提供する。 学生自身の自発的な発想や提案、チームワーク、コミュニケーションの能力の向上など、対話の大切さと積極的意欲、協力心の発揮に期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要			
到 達 目 標	①アイデアを具体的な映像プロジェクトに落とし込む方法を学ぶ。 ②企画に従い、明確な動画制作を行う。 ③個人とチームでの映像制作プロセスを体験し、技術を磨く。 ④制作物を発表し、協調性やコミュニケーションスキルを身に付ける。		
成 績 評 価 方 法	クリエイティビティ (50%) コミュニケーション (45%) 出欠席 (5%)		
テキスト・副読本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	プレゼンテーション技法	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	中上 篤
時 間 数	前期：36時間 / 後期：時間	実務経験：大手企業で、SEとしてシステム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	プレゼンテーションで、相手にどのように伝えるかの重要ポイントを解説する。構成要素や資料の作り方、事前に準備すべきものを学び、プレゼン時のアドリブや気配りといったことにも理解を促す。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	就職試験で自ら制作した作品のプレゼンテーションや、卒業研究発表時に活かすための技術やテクニックを指導する。資料のまとめ方や、見やすく与えられた時間の中で目的を達成するために効果的なプレゼンを理解し、活用してほしい。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	プレゼンテーションを行う目的である「理解」「納得」「行動」この3つのステップで進め、「Who (誰が)」「What (何を)」「How (どのように)」の3つのポイントで展開。実際仕事で使用されている事例を基に解説後、各自でパワーポイントなど使用し、資料を制作。時間を決めてのプレゼンをクラス内で実施。ブラッシュアップし、ステップアップしていく。		
到 達 目 標	プレゼンテーションの流れや要点を理解し、就職活動時の作品プレゼンなどで内定に導くことができるレベル。		
成 績 評 価 方 法	期末試験 (55%)、確認テスト (30%) 出欠席 (5%) 授業態度 (5%)、提出物 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	CG デザイン学科		2 年
科 目 名	ライティング演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤岡勝利
時 間 数	前期：54時間 / 後期：時間	実務経験：東京のデザイン会社で4年間、フリーランスで15年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、基礎的な表現力を身につけさせ、デザインやイラストレーションに活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ポスター、チラシあらゆる広報物には、不可欠なキャッチコピー。キャッチコピーの考え方を歴代の作品から学び、写真やイラストと共に制作物を作成する。 公募に出品する成果物を作成する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	基本的な考え方を講義形式で行い、過去の作品を参考に実践する。制作した課題をプレゼンテーションしながら、他者の表現からも学んでほしい。		
そ の 他			
	前 期		
授 業 の 概 要	グラフィックデザインや Web デザインにおいて、ターゲットに訴求する文章のテクニックを学ぶ。		
到 達 目 標	デザインを表現する場合、非常に重要なポイントであることを理解し、ターゲットにヒットするセンスあるキャッチコピーが作れるようにする。		
成 績 評 価 方 法	写真表現 (20%)、イラスト表現 (20%)、公募作品 (25%)、自由制作 (25%)、出欠席 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本	キャッチコピーの基本		



令和6年度 シラバス

学科・学年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科目名	ディレクション演習	科目区分	一般科目・ <b>専門科目</b>
開講期	<b>前期</b> ・後期・通年	担当教員	太田 真行
時間数	前期：74時間 / 後期：時間	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導を行う。	
科目の目的と講義内容	WebデザイナーやWebプログラマーの知識を元に、プロジェクトを監督・指揮・管理を行えるようスケジュールの進行管理、コンテンツの品質管理、プロジェクトメンバーの選定などを学ぶ。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	仮想クライアントを想定し、一人ひとりの役割を明確にしながらチームを編成。テーマを元に自分の役割を意識しながら制作を行う。Webディレクターとして必要なスキルを学生自身が体験から学ぶことを期待する。		
その他			
	前期	後期	
授業の概要	Webディレクターとはどういう仕事か解説。仮想クライアントを想定し、ヒアリングから行い、スケジュール管理から役割の指示、またコスト管理も意識しながらプレゼンテーションを行う。		
到達目標	WebデザイナーやWebプログラマー、Webディレクターとしてそれぞれの役割を明確に理解し、チームとして問題解決に取り組む力を得ることを最終目標とする。		
成績評価方法	制作物 (90%)、出欠席 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	トライアル演習	科 目 区 分	一般科目 ・ <b>専門科目</b>
開 講 期	<b>前期</b> ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期：72時間 / 後期： 時間	実務経験： 平成元年より3DCG制作業務に従事。独立後に在阪TV局での番組映像制作の傍ら専門学校や大学にてマルチメディア系講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	講義系・実習系の各授業で学んだ内容を用いて、実際の企業や団体からの依頼をデザインの力で解決する経験を積む。 クライアントの聞き取りから要件定義・試案提示・実制作・納品まで、実際のデザインワークに近い形でPDCAサイクルに基づいた作品制作とフィードバックを行う。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	クライアントの意向を汲み取り、それらを具体化するプロセスを体験学習し、就業後のイメージをつかんでほしい。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアントからの要望を整理して要件定義をおこなう</li> <li>・案件に合わせた制作技術の選定と、制作チームビルディング</li> <li>・制作途中にクライアントへの経過報告など、リアルな制作過程を経験する</li> </ul>		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでの効率的な制作ができる</li> <li>・クライアントとの円滑な情報交換ができる</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	チームワーク (40%)、制作技術 (50%)、出欠席 (5%)、授業態度 (5%)		
テキスト・副読本			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	ビジネス実務Ⅳ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期：時間 / 後期：16時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。</p>		
そ の 他	<p>各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。</p> <p>人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。</p>		
	後 期		
授 業 の 概 要	<p>1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。</p> <p>この知識と企業研究で得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。</p>		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付けることができる。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>期末試験 (95%)、出欠席 (5%)</p>		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	Web デザイン実習応用Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	西田 一登
時 間 数	前期： 時間 / 後期：60 時間	実務経験： 神戸のデザイン会社で約3年間、デザイナーとして Web デザインやグラフィックデザイン、撮影ディレクションなどに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	1つのテーマに対してコンセプト設計からデザインを作成し、グループまたは個人でプレゼンテーションを行うことで、デザイナーやプログラマーの観点から、問題解決力を養うことを目的とする。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	基本グループワークを中心として実施。 クライアントを想定して、ヒアリングから行うことで、学生にデザイナーの役割を理解させる。また個人制作では感じる事ができない、協力の大切さやリーダーシップの難しさを理解できることを期待する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		仮想のクライアントを想定し、ヒアリングを通じて問題点を導き出す。そこからグループごとにコンセプト設計をし、問題を解決できるよう工夫しながらデザインを制作し、プレゼンテーションを行う。	
到 達 目 標		デザイナーとしての役割を理解し、問題解決力を身につける。プレゼンテーションを行ううえで、伝える工夫の大切さを感じさせ、グループで協力して1つの物を作り上げる難しさを感じさせる。	
成 績 評 価 方 法		制作物 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	CMS演習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	松浦 登美子
時 間 数	前期： 時間 / 後期：30時間	実務経験： プログラマとして12年、Webディレクター兼サーバーエンジニアとして2年にわたり、企業サイトを手掛ける。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	WordPress の特徴や仕組みを理解し、「テーマ」を活用してカスタマイズできるスキルを身につける。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	実際に運用できるようセキュリティについても学ぶ。 WordPress の操作を確実に定着させるため復習も兼ねて「ギフト BOX 紹介ページ」の作成にチャレンジする。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		WordPress の特徴や仕組みを理解し、実務でも応用できる基礎スキルを身につける。実際に運用するためのセキュリティやアクセス解析についても学ぶ。	
到 達 目 標	。	「テーマ」のカスタマイズができること。	
成 績 評 価 方 法		課題 (65%)、期末試験(30%)、出欠席 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	ゼロから学ぶはじめての WordPress (バージョン 65.x 対応)		

令和6年度 シラバス

学科・学年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科目名	合同制作Ⅱ	科目区分	一般科目・ <b>専門科目</b>
開講期	前期・ <b>後期</b> ・通年	担当教員	佐賀根 理沙
時間数	前期： 時間 / 後期：35時間	実務経験：岡山のメーカーで約7年間、インハウ スデザイナーとしてグラフィックデザインや商 品開発、ブランディングに関わる。	
科目の目的と 講義内容	卒業研究前の時期に下級生とチームを編成して、これまで学習してきた内容をもとに、 研究と成果物の作成を行う。		
目指す検定・資格			
指導方法及び 学生に期待すること	マーケティングや制作手法に則って、実際のクライアントからヒアリングをして、チ ームでの作品制作を行う。そのため制作力のみではなく、コミュニケーションの力を養い、 実社会での作品制作に近い形で演習に望んでほしい。		
その他			
	前期	後期	
授業の概要		実際のクライアントからヒアリングをおこ ない、チームでの作品制作をおこなう。 制作後はクライアントへのプレゼンテーシ ョンを行う。	
到達目標		チームを率いる経験や、クライアントとの 交渉など、コミュニケーション力の向上を 図る。	
成績評価方法		成果物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)	
テキスト・副読本			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2年
科 目 名	エディトリアルデザイン	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	講師：藤岡 勝利
時 間 数	前期： 時間 / 後期：60時間	実務経験：東京のデザイン会社で4年間、フリーランスで15年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、基礎的な表現力を身につけさせ、デザインやイラストレーションに活かせるように実習する。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	クラス誌を制作する。カメラの授業で撮影した写真も使用し、企画編集を体験する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	取材・編者・撮影・コピーライティング等、役割分担しチームで制作する。個人制作が多く、グループで意見を出し合いながら進行していくことで、コミュニケーションの向上に努められるように指導する。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	編集長、副編集長、進捗管理係をリーダーとして、クラス誌（冊子）のタイトル、ページ数、企画を全体で話し合い、企画ごとにチームリーダーをたて、進捗状況を確認しながら、校正、再校、校了日程に合わせて、全ページの確認をし、全体のイメージを統一させる。		
到 達 目 標	就職試験で、編集の仕事に就きたい学生が、出版社へ持参し説明できるレベル。		
成 績 評 価 方 法	ラフスケッチ（10%）、グループでの貢献度（10%）、完成度（30%）、規約・要件を満たしているか（40%）、出欠席（5%）、授業態度（5%）		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な分野の雑誌(1人1冊持参)</li> <li>・ 過去の先輩の冊子(数年分)</li> </ul>		

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	卒業研究 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期： 時間 / 後期：111時間	実務経験：岡山のメーカーで約7年間、インハウ スデザイナーとしてグラフィックデザインや商 品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	学科の集大成として、これまで学習してきた内容をもとに、研究・成果物作成を行う。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	サイト制作やプロダクト開発を行う際に、ニーズや市場調査など学生自身が行い、成果物の運用や展開についても考えて発表する。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		Web の知識や技術を活かして、企業・業界にどう貢献できるのか、設定したテーマについて資料をまとめ、実制作を行う。	
到 達 目 標		根拠を持った成果物を作成し、プレゼンテーションできる。	
成 績 評 価 方 法		提出物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			



## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	ネット・動画クリエイター学科		2 年
科 目 名	卒業研究Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐賀根 理沙
時 間 数	前期： 時間 / 後期：96時間	実務経験：岡山のメーカーで約7年間、インハウ スデザイナーとしてグラフィックデザインや商 品開発、ブランディングに関わる。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	課題に対する資料、作品、プレゼンテーション作成 卒業研究発表会に向けて。グループまたは個人毎で研究を行い、成果を発表する		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	テーマに基づいてニーズや市場調査から成果物の運用や展開についても考えて発表する。レベル向上のために、教員がチェックを行う。制作の集大成としてやり切るという意識を持つ。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		卒業研究発表会に向けて、根拠や、プレゼン テーションの作成を行う。	
到 達 目 標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実制作物の展示発表</li> <li>・ プレゼンテーションの実施</li> </ul>	
成 績 評 価 方 法		提出物(90%)、出欠点(5%)、授業態度(5%)	
テキスト・副読本			